

生誕130年

出品目録

# 彫刻家 高村光太郎展

6月29日[土]—8月18日[日]

千葉市美術館

おこたわり リストの配列は展示の順序と異なります

開館時間：10時—18時（金・土曜日は20時まで）入場受付は閉館の30分前まで  
休館日：第一月曜日（7月1日、8月5日）

No.	作家名	作品名	制作年	素材 技法 寸法（高×幅×奥行）	所蔵	千 葉	井 原	碧 南
I-1	高村光太郎	紅葉と宝珠	1894 明治27	木彫 手板 肉合彫 10.8×9.6×0.8	東京藝術大学蔵	○	○	○
I-2	高村光太郎	猪	1895 明治28	木彫 手板 肉合彫 14.5×14.1×0.7	個人蔵	○	○	○
I-3	高村光太郎	兔	1896 明治29	木彫 手板 浮彫 14.6×15.3×2.0	個人蔵	○	○	○
I-4	高村光太郎	鼠	1896 明治29	木彫 手板 浮彫 15.2×18.0×1.5	個人蔵	○	○	○
I-5	高村光太郎	羅漢1	1898 明治31	木彫 手板 浮彫 24.0×17.0×1.0	個人蔵	○	○	○
I-6	高村光太郎	羅漢2	1898 明治31	木彫 手板 浮彫 25.0×18.0×1.5	個人蔵	○	○	○
I-7	高村光太郎	兔	c.1899 明治32頃	木彫 丸彫 12.0×11.6×14.1	東京国立近代美術館蔵	○	○	
I-8	高村光太郎	中島兼吉像	c.1900 明治33頃	塑造 ブロンズ 浮彫 60.5×46.0×0.9	個人蔵	○	○	○
I-9	高村光太郎	獅子吼	1902 明治35	塑造 ブロンズ 111.0×48.0×36.5	東京藝術大学蔵	○	○	○
I-10	高村光太郎	解剖台上の紅葉山人	1903 明治36	塑造 ブロンズ 25.0×44.0×28.5	個人蔵	○	○	○
I-11	高村光太郎	薄命児男子頭部	1905 明治38	塑造 ブロンズ 21.1×15.4×18.0	個人蔵	○	○	○
I-12	高村光太郎	虎の首	c.1905 明治38頃	塑造 ブロンズ 15.5×17.0×13.4	個人蔵	○	○	○
I-13	高村光太郎	鶏の首	c.1905 明治38頃	塑造 ブロンズ 15.0×10.5×11.0	個人蔵	○	○	○
I-14	高村光太郎	猪	c.1905 明治38頃	塑造 ブロンズ 15.0×24.0×13.0	個人蔵	○	○	○
I-15	高村光太郎	ラスキン胸像 （ポーグラム模刻）	1906 明治39	塑造 ブロンズ 11.2×15.6×10.7	個人蔵	○	○	○
I-16	高村光太郎	光雲の首	1911 明治44	塑造 ブロンズ 47.0×27.8×31.5	個人蔵	○	○	○
I-17	高村光太郎	松方正義の首	1913 大正2	塑造 ブロンズ 19.8×14.2×15.7	個人蔵	○	○	○
I-18	高村光太郎	園田孝吉胸像	1915 大正4	塑造 ブロンズ 57.0×54.3×34.8	碌山美術館蔵	○	○	○
I-19	高村光太郎	園田孝吉像メダル	1915 大正4	塑造 ブロンズ 浮彫メダル 12.5×12.5×1.5	個人蔵	○	○	○
I-20	高村光太郎	裸婦坐像	1917 大正6	塑造 ブロンズ 27.5×13.5×14.0	個人蔵	○	○	○
I-21	高村光太郎	腕	1918 大正7	塑造 ブロンズ 15.0×51.0×16.0	碌山美術館蔵	○	○	○
I-22	高村光太郎	ヒポクラテス胸像	1918 大正7	塑造 ブロンズ 38.4×23.0×19.5	個人蔵	○	○	○
I-23	高村光太郎	手	c.1918 大正7頃	塑造 ブロンズ 39.0×28.7×15.2	個人蔵	○	○	○

No.	作家名	作品名	制作年	素材 技法 寸法 (高×幅×奥行)	所蔵	千 葉	井 原	碧 南
I-24	高村光太郎	蟬 1	1924 大正 13	木彫 丸彫 着彩 2.6×6.2×3.1	個人蔵	○	○	○
I-25	高村光太郎	蟬 3	1924 大正 13	木彫 丸彫 着彩 2.3×7.2×3.1	個人蔵	○	○	○
I-26	高村光太郎	柘榴	1924 大正 13	木彫 丸彫 着彩 6.0×7.2×6.8	個人蔵	○	○	○
I-27	高村光太郎	聖母子像—尾崎喜八・水野実子両 君結婚の日—(ミケランジェロ模刻)	c.1924 大正 13 頃	塑造 ブロンズ 26.3×11.0×14.5	個人蔵	○	○	○
I-28	高村光太郎	鯨 1	1925 大正 14	木彫 丸彫 着彩 5.0×41.8×9.6	個人蔵		○	○
I-29	高村光太郎	老人の首	1925 大正 14	塑造 ブロンズ 37.8×21.2×28.2	碌山美術館蔵	○	○	○
I-30	高村光太郎	鯨 2	1926 大正 15/昭和元	木彫 丸彫 着彩 6.5×43.2×16.0	東京国立近代美術館蔵	○	○	
I-31	高村光太郎	蟬 4	1926 大正 15/昭和元	木彫 丸彫 着彩 2.3×7.5×3.1	個人蔵	○	○	○
I-32	高村光太郎	大倉喜八郎の首	1926 大正 15/昭和元	塑造 ブロンズ 14.5×9.8×12.0	個人蔵	○	○	○
I-33	高村光太郎	桃	1927 昭和 2	木彫 丸彫 着彩 8.8×7.3×6.6	個人蔵	○	○	○
I-34	高村光太郎	白文鳥	c.1930 昭和 5 頃	木彫 丸彫 着彩 20.9×6.9×8.8 (雄) 19.2×6.1×8.7 (雌)	個人蔵	○	○	○
I-35	高村光太郎	蓮根	c.1930 昭和 5 頃	木彫 丸彫 着彩 9.1×37.5×5.3	個人蔵	○	○	○
I-36	高村光太郎	黒田清輝胸像	1932 昭和 7	塑造 ブロンズ 54.5×62.0×47.0	東京藝術大学蔵	○	○	○
I-37	高村光太郎	成瀬仁蔵胸像	1933 昭和 8	塑造 ブロンズ 86.0×70.2×57.0	日本女子大学蔵	○	○	○
I-38	高村光太郎	種まく人	c.1933 昭和 8 頃	塑造 ブロンズ 浮彫 14.2×14.8×1.0	岩波書店蔵	○	○	○
I-39	高村光太郎	嘉納治五郎像	1934 昭和 9	塑造 ブロンズ 浮彫メダル 22.2×15.5×1.6	個人蔵	○	○	○
I-40	高村光太郎	光雲一周忌記念胸像	1935 昭和 10	塑造 ブロンズ 71.0×55.0×48.3	碌山美術館蔵	○	○	○
I-41	高村光太郎	日本水先人協会記念牌	1937 昭和 12	塑造 ブロンズ 浮彫 33.2×33.2×1.0	個人蔵	○	○	○
I-42	高村光太郎	フロイド賞牌	1939 昭和 14	塑造 石膏 浮彫メダル 25.0×25.0×1.0	個人蔵	○	○	○
I-43	高村光太郎	野兎の首	c.1945-52 昭和 20-27 頃 (太田村滞在期)	塑造 ブロンズ 10.2×8.0×9.8	個人蔵	○	○	○
I-44	高村光太郎	十和田国立公園功労者記念碑の ための裸婦像・手	1952 昭和 27	塑造 ブロンズ 44.0×14.0×18.5	個人蔵	○	○	○
I-45	高村光太郎	十和田国立公園功労者記念碑の ための裸婦像・小型試作	1952 昭和 27	塑造 ブロンズ 56.2×21.9×17.0 (A) 56.7×23.5×17.4 (B)	個人蔵	○	○	○
I-46	高村光太郎	十和田国立公園功労者記念碑の ための裸婦像・中型試作	1953 昭和 28	塑造 ブロンズ 112.0×62.5×36.5	個人蔵	○	○	○
I-47	高村光太郎	大町桂月像	1953 昭和 28	塑造 石膏 浮彫メダル 12.2×12.0×1.3	個人蔵	○	○	○
I-48	高村光太郎	倉田雲平胸像	1954 昭和 29	塑造 ブロンズ 75.0×49.5×33.5	株式会社 ムーンスター 蔵	○	○	○
I-49	高村光太郎	スケッチブック (A)	c.1952 昭和 27 頃	紙、鉛筆 37.3×29.3	個人蔵	○	○	○
I-50	高村光太郎	スケッチブック (B)	c.1952-54 昭和 27-29 頃	紙、鉛筆 37.3×29.3	個人蔵	○	○	○

No.	作家名	作品名	制作年	素材 技法 寸法 (高×幅×奥行)	所蔵	千 葉	井 原	碧 南
I-51	高村光太郎	スケッチブック (C)	c.1952-55 昭和27-30頃	紙、鉛筆 37.7×26.8	個人蔵	○	○	○
I-52	参考出品	黄瀛の首 (撮影:土門拳)	彫刻:c.1926 大正15/昭和元頃 撮影:1938 昭和13	写真 52.2×45.5	土門拳記念館蔵	○	○	○
I-53	参考出品	デスハンド	1956 昭和31	10.0×11.5×23.0	個人蔵	○	○	○
I-54	参考出品	彫刻刀		長16.2~23.1	個人蔵	○	○	○
II-1	オーギュスト・ロダン	痙攣する大きな手	1889 明治22	塑造 ブロンズ 46.5×27.0×20.5	兵庫県立美術館蔵	○	○	○
II-2	オーギュスト・ロダン	ピュヴィ・ド・シャヴァンヌの胸像	1890-91 明治23-24	塑造 ブロンズ 51.0×50.0×32.0	国立西洋美術館蔵 (松方コレクション)	○	○	○
II-3	オーギュスト・ロダン	教皇ベネディクトゥス 15世	1915 大正4	塑造 ブロンズ 26.0×19.0×23.0	国立西洋美術館蔵 (松方コレクション)	○	○	○
II-4	エミール=アントワーン・ブールデル	アダムの手	1889 明治22	塑造 ブロンズ 34.0×15.5×14.0	兵庫県立美術館蔵	○	○	○
II-5	アリスティド・マイヨール	手	1938 昭和13	塑造 ブロンズ 15.5×31.5×11.0	兵庫県立美術館蔵	○	○	○
II-6	高村光雲	洋犬の首	1877 明治10	木彫 7.7×18.1×9.7	個人蔵	○	○	○
II-7	荻原守衛	坑夫	1907 明治40	塑造 ブロンズ 47.0×58.0×30.0	碌山美術館蔵	○	○	○
II-8	荻原守衛	小児の首	1909 明治42	塑造 ブロンズ 22.5×18.0×15.0	碌山美術館蔵	○	○	○
II-9	毛利教武	手	1919 大正8	塑造 ブロンズ 22.5×22.0×18.0	個人蔵	○	○	○
II-10	佐藤朝山	牝牛	1926 大正15	木彫 21.0×29.3×12.5	東京藝術大学蔵	○	○	○
II-11	佐藤朝山	冬眠	1928 昭和3	木彫 10.5×22.3×25.0	福島県立美術館蔵 横井美恵子コレクション	○	○	○
II-12	佐藤朝山	牝猫	1928 昭和3	木彫 43.0×36.5×15.0	個人蔵		○	○
II-13	佐藤朝山	蜥蜴	1929 昭和4	木彫 着彩 5.0×37.8×3.8	個人蔵		○	○
II-14	佐藤朝山	筍	1929 昭和4	木彫 着彩 13.2×35.5×15.7	個人蔵	○	○	○
II-15	佐藤朝山	白菜	1931 昭和6	木彫 着彩 16.0×26.2×17.6	個人蔵		○	○
II-16	佐藤朝山	鳩	1931 昭和6	木彫 着彩 27.8×22.0×10.0	福島県立美術館寄託 横井美恵子コレクション	○	○	○
II-17	中原悌二郎	憩える女	1919 大正8	塑造 ブロンズ 31.7×37.7×16.5	兵庫県立美術館蔵	○	○	○
II-18	中原悌二郎	平櫛田中像	1919 大正8	塑造 ブロンズ 37.8×25.0×21.3	井原市立田中美術館蔵	○	○	○
III-1	高村 智恵子	シンメトリー 花	1937-38 昭和12-13	紙絵 17.6×17.6	個人蔵	○		
III-2	高村 智恵子	シンメトリー 花	1937-38 昭和12-13	紙絵 11.8×11.9	個人蔵	○	○	○
III-3	高村 智恵子	葉	1937-38 昭和12-13	紙絵 24.5×40.1	個人蔵	○		
III-4	高村 智恵子	花	1937-38 昭和12-13	紙絵 23.8×36.6	個人蔵	○	○	
III-5	高村 智恵子	シンメトリー	1937-38 昭和12-13	紙絵 27.0×27.3	個人蔵	○	○	○
III-6	高村 智恵子	花 (白い小花)	1937-38 昭和12-13	紙絵 24.0×33.3	個人蔵	○	○	
III-7	高村 智恵子	花	1937-38 昭和12-13	紙絵 24.2×24.7	個人蔵	○		

No.	作家名	作品名	制作年	素材 技法 寸法 (高×幅×奥行)	所蔵	千 葉	井 原	碧 南
III-8	高村 智恵子	はな	1937-38 昭和12-13	紙絵 33.2×24.5	個人蔵	○	○	
III-9	高村 智恵子	びんに挿した花	1937-38 昭和12-13	紙絵 36.4×24.5	個人蔵	○	○	
III-10	高村 智恵子	カーネーション	1937-38 昭和12-13	紙絵 17.7×18.0	個人蔵	○	○	○
III-11	高村 智恵子	植木鉢に花	1937-38 昭和12-13	紙絵 17.8×17.8	個人蔵	○		
III-12	高村 智恵子	花瓶の花	1937-38 昭和12-13	紙絵 24.2×24.2	個人蔵	○	○	○
III-13	高村 智恵子	実	1937-38 昭和12-13	紙絵 12.2×12.2	個人蔵	○	○	○
III-14	高村 智恵子	鉢にさといもの芽	1937-38 昭和12-13	紙絵 23.5×28.1	個人蔵	○		
III-15	高村 智恵子	鳥ときゅうり	1937-38 昭和12-13	紙絵 24.5×33.2	個人蔵	○		○
III-16	高村 智恵子	なす	1937-38 昭和12-13	紙絵 23.6×31.2	個人蔵	○		
III-17	高村 智恵子	野菜	1937-38 昭和12-13	紙絵 24.5×16.8	個人蔵	○		
III-18	高村 智恵子	蓮根	1937-38 昭和12-13	紙絵 23.6×27.6	個人蔵	○	○	○
III-19	高村 智恵子	ガラス器	1937-38 昭和12-13	紙絵 24.5×33.2	個人蔵	○		○
III-20	高村 智恵子	豆	1937-38 昭和12-13	紙絵 24.5×16.6	個人蔵	○		○
III-21	高村 智恵子	松たけ	1937-38 昭和12-13	紙絵 23.5×27.7	個人蔵	○	○	
III-22	高村 智恵子	ぜんまい	1937-38 昭和12-13	紙絵 15.1×15.1	個人蔵	○	○	
III-23	高村 智恵子	お菜	1937-38 昭和12-13	紙絵 9.6×17.6	個人蔵	○		
III-24	高村 智恵子	お菜	1937-38 昭和12-13	紙絵 23.6×29.2	個人蔵	○	○	
III-25	高村 智恵子	切り身	1937-38 昭和12-13	紙絵 23.4×28.8	個人蔵	○		○
III-26	高村 智恵子	鱈	1937-38 昭和12-13	紙絵 16.4×19.7	個人蔵	○	○	○
III-27	高村 智恵子	魚	1937-38 昭和12-13	紙絵 11.5×31.7	個人蔵	○	○	
III-28	高村 智恵子	魚	1937-38 昭和12-13	紙絵 17.8×35.2	個人蔵	○	○	
III-29	高村 智恵子	魚	1937-38 昭和12-13	紙絵 12.4×25.3	個人蔵	○		○
III-30	高村 智恵子	魚	1937-38 昭和12-13	紙絵 23.5×28.2	個人蔵	○		
III-31	高村 智恵子	魚とねぎ	1937-38 昭和12-13	紙絵 23.5×28.3	個人蔵	○	○	
III-32	高村 智恵子	魚と貝	1937-38 昭和12-13	紙絵 15.1×24.1	個人蔵	○	○	
III-33	高村 智恵子	魚	1937-38 昭和12-13	紙絵 12.1×12.1	個人蔵	○	○	
III-34	高村 智恵子	かに	1937-38 昭和12-13	紙絵 25.6×34.6	個人蔵	○	○	○
III-35	高村 智恵子	手さげ袋 (袋の中の卵)	1937-38 昭和12-13	紙絵 11.7×12.1	個人蔵	○	○	○
III-36	高村 智恵子	月見そば	1937-38 昭和12-13	紙絵 16.6×24.0	個人蔵	○		
III-37	高村 智恵子	片口の中のりんご	1937-38 昭和12-13	紙絵 24.9×35.1	個人蔵	○	○	○

No.	作家名	作品名	制作年	素材 技法 寸法 (高×幅×奥行)	所蔵	千 葉	井 原	碧 南
III-38	高村 智恵子	器に盛ったりんご	1937-38 昭和12-13	紙絵 14.7×14.8	個人蔵	○		
III-39	高村 智恵子	ざくろ	1937-38 昭和12-13	紙絵 17.7×17.8	個人蔵	○	○	○
III-40	高村 智恵子	ぶどう	1937-38 昭和12-13	紙絵 24.1×24.1	個人蔵	○	○	○
III-41	高村 智恵子	洋梨	1937-38 昭和12-13	紙絵 16.5×11.4	個人蔵	○	○	
III-42	高村 智恵子	バナナ	1937-38 昭和12-13	紙絵 23.6×26.8	個人蔵	○	○	
III-43	高村 智恵子	柿とみかん	1937-38 昭和12-13	紙絵 23.5×28.8	個人蔵	○	○	
III-44	高村 智恵子	おくりもの	1937-38 昭和12-13	紙絵 23.5×28.0	個人蔵	○		
III-45	高村 智恵子	みやげ	1937-38 昭和12-13	紙絵 36.8×35.6	個人蔵	○	○	○
III-46	高村 智恵子	みやげ	1937-38 昭和12-13	紙絵 29.8×45.0	個人蔵	○	○	
III-47	高村 智恵子	くだものかご	1937-38 昭和12-13	紙絵 39.9×44.9	個人蔵	○	○	○
III-48	高村 智恵子	くだものかご	1937-38 昭和12-13	紙絵 27.0×46.4	個人蔵	○	○	
III-49	高村 智恵子	くだものかご	1937-38 昭和12-13	紙絵 35.6×42.7	個人蔵	○	○	
III-50	高村 智恵子	くだものかご	1937-38 昭和12-13	紙絵 43.1×54.4	個人蔵	○	○	
III-51	高村 智恵子	桜もちとうぐいすもち	1937-38 昭和12-13	紙絵 13.3×17.7	個人蔵	○	○	○
III-52	高村 智恵子	水ようかん	1937-38 昭和12-13	紙絵 23.5×26.0	個人蔵	○	○	
III-53	高村 智恵子	さつまいも	1937-38 昭和12-13	紙絵 23.5×28.2	個人蔵	○	○	
III-54	高村 智恵子	ロールケーキ	1937-38 昭和12-13	紙絵 23.5×28.0	個人蔵	○	○	○
III-55	高村 智恵子	クリームケーキ	1937-38 昭和12-13	紙絵 12.1×12.1	個人蔵	○	○	
III-56	高村 智恵子	コーヒー豆ひき(コーヒーミル)	1937-38 昭和12-13	紙絵 23.6×27.9	個人蔵	○	○	○
III-57	高村 智恵子	きゅうす	1937-38 昭和12-13	紙絵 23.5×27.2	個人蔵	○	○	○
III-58	高村 智恵子	スプーン	1937-38 昭和12-13	紙絵 26.4×27.7	個人蔵	○		
III-59	高村 智恵子	スプーン	1937-38 昭和12-13	紙絵 16.6×12.4	個人蔵	○	○	
III-60	高村 智恵子	はさみ	1937-38 昭和12-13	紙絵 16.6×12.3	個人蔵	○	○	
III-61	高村 智恵子	鍋と小鉢	1937-38 昭和12-13	紙絵 23.7×27.5	個人蔵	○		○
III-62	高村 智恵子	のり筒	1937-38 昭和12-13	紙絵 23.1×31.1	個人蔵	○		
III-63	高村 智恵子	くし	1937-38 昭和12-13	紙絵 24.6×33.2	個人蔵	○		
III-64	高村 智恵子	道具入れ	1937-38 昭和12-13	紙絵 34.8×44.4	個人蔵	○	○	○
III-65	高村 智恵子	教会(思い出のアトリエ)	1937-38 昭和12-13	紙絵 19.2×10.2	個人蔵	○		○

出品作品は各会場の都合で変更になる場合があります。

## ごあいさつ

高村光太郎（1883–1956）は江戸末期から明治期に活躍した木彫家・高村光雲（1852–1934）の長男として東京・下谷に生まれ、幼い頃より後継者としての修練を与えられました。父から江戸時代そのままの指導方法によって木彫の基礎を学んだ光太郎は東京美術学校で木彫の他に塑造を学び、卒業後アメリカそしてフランスに留学します。

帰国後の光太郎の活動は、彫刻よりも文筆活動によって広く知られるようになります。日本最初のポスト印象派宣言とも、あるいはフォーヴィスムの先駆とも評される「緑色の太陽」（1910）に代表される評論、『道程』（1914）、『智恵子抄』（1941）などの詩業、そして『ロダンの言葉』（1916）といった翻訳は、芸術家である彼の存在を印象付けました。

その一方で光太郎は、彫刻の制作とその発表については慎重であり続けました。残念なことに1945年の空襲によって彼のアトリエは被災し、多くの彫刻作品が喪われ、彫刻家としてのあゆみは全体像が見えにくいものとなってしまいました。そして、疎開による環境の変化は、彫刻を制作する機会の妨げとなりました。

最晩年、光太郎は自ら「私は今でも自分を彫刻家だと思っているし、私の彫刻の仕事をかえり見て、それが詩の仕事に及ばないとは思わない。また、明治以来の日本の彫刻の中で自分の彫刻がどういう役割を果しているのかも知っている。そしてまだ相當の可能性を保持していることも信じている」（「自傳」）と記しました。彫刻家の歿後、戦災を免れた作品によって直ちに遺作展が開催され、今日に至るまで数多くの展覧会で彼の彫刻は近代日本を代表する作品として取り上げられています。

生誕130年の節目を迎えて開催される今回の展覧会では、光太郎の原点ともいえる木彫作品をはじめ、彼が参照したロダン（1840–1917）や同時代の荻原守衛（1879–1910）、佐藤朝山（1888–1963）などによる作品と妻・智恵子（1886–1938）が制作した紙絵を併せて展示します。本展が光太郎の彫刻作品を見直す契機であると共に、今日活発化している近代日本彫刻をめぐる研究に対する反省の機会となることを願います。

最後となりましたが、本展覧会の開催にあたり、監修の労をおとり下さった高村規様はじめ多大なるご協力を賜りました高村家の皆様および本展最初の企画者である川上直也氏、高村光太郎研究の第一人者である北川太一氏と小山弘明氏、そして貴重な作品をご出品いただきました各美術館、画廊、所蔵家の皆様ならびに関係各位のご尽力に心からの感謝を捧げます。

## 生誕130年 彫刻家・高村光太郎展

千葉市美術館

2013年6月29日（土）— 8月18日（日）

主催：千葉市美術館・NHK プロモーション

後援：NHK 千葉放送局

企画協力：NHK プラネット中部